

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会

就労支援推進部会は、障がいのある方が一般企業で働く、また働き続けることができる地域を目指し、障がいのある方の就労等に係る現状や課題について、市内の事業所・企業等が集まり、定期的に協議している専門部会です。

今年度の活動状況

定例会

R6/5/10 開催

令和6年度 就労支援推進部会 定例会・学習会は、5月10日(金)午後、かでの2.7で開催、札幌市内の就労支援関係87機関・115名に参加いただきました。札幌市では、就労継続支援B型事業所が増え続けており(令和5年度中に54所増、令和6年度は12月迄の9ヶ月間に71所増、総数648事業所・総定員12,992人)、B型で利用者を抱え込むのではなく、地域の関係機関と連携しながら一般就労に向けた取り組みや求職・職場定着支援にもチャレンジ…のキッカケとしていただければと企画。昨年度の定例会で機関説明等をいただいた障害者職業センター、ナカポツ(札幌市就業・生活相談支援事業所、就業・生活支援センター)と、就労継続支援B型事業所での一般就労にむけた連携支援×3ペアの実践報告を受けて、グループワークを行いました。参加いただいた皆様、その後、一般就労にむけた連携支援・チャレンジは進んでいますか!

札幌障がい者就業・生活支援センターたすく 松本



JC-NET ジョブコーチ養成研修

(厚生労働大臣指定訪問型職場適応援助者・企業在籍型職場適応援助者養成研修) R6/10/10-12 開催

10月に「JC-NETジョブコーチ養成研修」を開催しました。今回は訪問型職場適応援助者養成研修のみでしたが、今年度は企業在籍型職場適応援助者養成研修も開催し、企業の障がい者雇用担当の方にご参加いただきました。企業の方の視点でお話をうかがうこともでき、企業と福祉の両方で障がいのある方の職業生活を支えるということを考えることができる機会となりました。ジョブコーチ養成研修は、基礎課程、実践課程、現場実習の3課程の受講が必要となります。現場実習は、障がい者雇用を行っている企業にご協力いただき、受講生が1日企業を訪問し、実習をさせていただきます。障がいのある方の仕事内容をうかがい、雇用担当の方からお話をうかがうことは、就労支援を行う上でも貴重な経験だと感じています。お忙しい中、実習をお受けいただきました企業の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。受講生の皆さま、講師・トレーナー、実行委員の皆さまありがとうございました。「相手の立場に立って考える」という思いを大事にしたJC-NETの研修を実施し、障がいのある方が働くことを支えることの大切さをあらためて感じることができました。



就業・生活応援プラザ とねっと
大野 由美子



さぽコン

～若手支援者の意見を聴く会～

R7/2/28 開催

令和7年2月28日(金)に「さぽコン～若手支援者の意見を聴く会」をキャリアバンク様の会場をお借りして参集対面形式で開催いたしました。昨年度同様、就労支援経験年数を3年で募集し、27名の方が参加されました。事業所種別毎(就労移行・就労継続支援B型・多機能型・職業センター・ナカポツ)にグループ分けの上、事前に募った「トークテーマ」に沿って各グループのファシリテーターが進行し、どのグループも積極的で活発な意見交換がなされていました。参加者の皆様からは「明日からも仕事を頑張ろう!と思えた」「同じような悩みを持っている方もいて仲間が出来たように感じた」と本会の目的である、事業所の垣根を超えた顔の見える関係づくり、横の繋がりを作るキッカケとなる会になったのではないかと感じました。また、「年1回ではなく2回開催してほしい」「中堅職員向けの開催もあると嬉しい」といった感想もあり、運営委員で協議・検討していきたいと思います。

札幌障がい者就業・生活支援センターたすく 佐々木





～自分らしく働く・働き続ける～



多機能型事業所 あずあいむ

11歩目

地下鉄東西線二十四軒駅から徒歩2分、公園や中学校が隣接する一画に、福祉サービス事業所があります。今回取材させていただいたのは、多機能型事業所あずあいむさんです。所内に入室すると、直ぐに利用者様が元気な挨拶で迎えてくれました。あずあいむさんは、4つの事業を展開しており、就労移行支援、就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練）、就労定着支援を行っています。今回の取材では種々様々なプログラム内容や活動の様子を見学させていただきました。



【多機能型事業所 あずあいむ】

- ◆ 住 所：札幌市西区二十四軒1条4丁目2-35 アリコンビル2F
- ◆ TEL：011-621-8685 ◆ FAX：011-676-7329
- ◆ HP：http://www.npo-assist.org/
- ◆ 定 員：主たる就労移行支援 14名 / 自立訓練（生活訓練）6名
就労継続支援B型 14名
- ◆ スタッフ：15名

各事業のご担当者様より、法人の理念や事業所の特色等、それぞれの思いについてお話を伺うことができましたのでご紹介いたします。「主たる就労移行支援」からは、「自分らしく働く」ことを自身で見つけ、働く力を身に付けながら「自分らしさ」を実現できる様にチャレンジすることの大切さをお話いただき、仕事が全てではないものの、社会人として収入を得て、自立した生活を送って欲しいという温かい想いをお聞きすることができました。「就労移行支援 conoiro（このいろう）」の特色としては、少人数の方を対象に、認知行動療法等の豊富なプログラムを取り入れ、社会に出てても困難を乗り越える力を養いながら働きつづけるための支援に力を入れているとのことお話を伺いました。一人ひとりと向き合いながら自己理解を促し「その人のみ」のオーダーメイドのプランを組み立てていくこと、何より寄り添う姿勢が大切であることを学ばせていただきました。「自立訓練（生活訓練）」では「明確な就労」を目指すために自分を知る事や、将来に向けた選択肢のイメージを持っていただける様にじっくり準備性を整えつつ、就労への道しるべを作っていきたいとのことでした。作業風景やプログラムからも、丁寧な支援を実践している様子が伝わってきました。「就労継続支援B型」は、決められた枠にはまらず作業を通して自分ができていることを見つけられる様な支援を行っているとのことでした。難しいケースにも真摯に向き合い一人ひとりに合った支援を心掛けていると感じました。As I am（アズアイム）～自分らしく～の理念を基に、自分と向き合うことの大切さや、失敗をしてもそこから学び、社会生活を送る為の力を身に付けていく事の大切さについて改めて学ぶ機会となりました。興味のある方、見学や体験を希望される方は、事前に申し込みの上ご相談ください。



【従たる就労移行支援事業所 conoiro（このいろう）】

- ◆ 住 所：札幌市西区二十四軒2条4丁目6-23
エクセルシュール二十四軒3F
- ◆ TEL：011-215-9730 ◆ FAX：011-215-9731
- ◆ 定 員：6名 ◆ スタッフ：2名

取材／多機能型事業所とらいわく 大澤、就業・生活相談室しんさっぽろ 平方

札幌市 インフォメーション

元気カフェ たゆたや

札幌市役所1階に新しくオープンした「元気カフェたゆたや」は、令和6年5月1日から営業を開始しました。このカフェは、障がいのある方と市民が気軽に交流できる場として設立されました。元気カフェたゆたやでは、心を込めて淹れたおいしいコーヒーや、彩り豊かな食事を提供しています。特に注目すべきは、障がい者スタッフが自ら考案したメニューが楽しめることです。訪れるお客様には、明るく温かい雰囲気の中でリラックスして過ごしていただけます。ぜひ一度、元気カフェたゆたやに足を運び、素敵なひとときをお楽しみください。皆様のご来店をスタッフ一同、笑顔でお待ちしております！



住所：札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 1階
電話：011-590-4510

就労支援推進部会の活動に参加してみませんか？

就労支援推進部会では、随時、一緒に活動する構成員を募集しています。登録をご希望される市内の就労支援に関わる障がい福祉事業所や企業等の方は、札幌市公式ホームページで規約等をご確認のうえ、お申込ください。

<札幌市公式ホームページ>

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/syurou2.html>



さっぽろ市 札幌市では「心のバリアフリー」を推進しています！

「心のバリアフリー」とは、障がいのある方などに対する偏見や無理解といった、心の中にある見えない壁（心のバリア）をなくして、一人ひとりが多様な人を思いやり、行動を起こすことです。（札幌市保健福祉局）



さっぽろ市
02-F04-24-2585
R6-2-1659